日本マレーシア学会(JAMS) 連携研究会

これは過去の学会活動の記録です。現在この活動は行われていません。

クアラルンプール地区研究会

クアラルンプール地区研究会は2005年3月に設立された研究会で、日本マレーシア学会(JAMS)の連携研究会の1つです。マレーシアに長期滞在中の若手のJAMS会員を中心に、研究者や実務家の別を問わずオープンな議論の場とすることを目指して研究会を開催しています。

現在、クアラルンプール地区研究会は活動を行っていません。過去の活動の詳細は、クアラルンプール地区研究会のウェブサイト(http://jamskl.seesaa.net/)もご覧ください。

過去の活動記録

■2009年度

・2009年8月9日、国際交流基金クアラルンプール

報告:伊賀 司(神戸大学大学院博士課程)

「東南アジアにおいてインターネットは社会と政治にどのような影響を与えているのか:インドネシアとマレーシアの事例から」

■2008年度

・2009年1月31日、国際交流基金クアラルンプール

報告:辻 修次(マラヤ大学 東南アジア研究科博士候補)

「漁村は自然保護をどう受容しているか―マ・ダエラ海亀サンクチュアリーの事例から」

・2008年9月14日、国際交流基金クアラルンプール

報告:戸加里康子(一橋大学大学院博士後期課程)

「ワヤン・クリ・シアムの現状」

2008年8月16日、パープルケインティーハウス ミッドバレー店

報告:弁谷鋭(立教大学観光学部)

「マレーシアにおけるポストコロニアルツーリズムの現在」

2008年8月9日、国際交流基金クアラルンプール

報告：相原啓人（ロンドン大学東洋アフリカ研究学院大学院博士課程）

「アブドゥラ政権下のＵＭＮＯにみるマレーシア政治経済の「変わらないもの」と「変わるもの」」

報告：浅井健太（マレーシア国民大学修士課程）

「ハントゥアと源為朝-伝説から英雄物語へ-」

2008 年 5 月 10 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：久志本裕子（東京外国語大学大学院）

「イスラームを学ぶということ：伝統的形態と現代的形態」

■2007 年度

・2008 年 3 月 9 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：岡本義輝（宇都宮大学大学院国際学研究科博士課程／元シャープ電気マレーシア・マネージメントダイレクター）

「研究開発（R&D）の国際移転論：マレーシアにおける日系 AV 企業 R&D 移転の実証的研究」

・2007 年 12 月 15 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：篠崎香織（在クアラルンプール日本大使館専門調査員）

「マレーシアにおける『バンサ』をめぐる最近の議論」

・2007 年 7 月 7 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：伊賀司（神戸大学大学院博士課程）

「マレーシアの政治体制とオールターナティブ・メディア：「不自由な民主主義体制」における反体制派とメディア」

・2007 年 5 月 22 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：國分圭介（社団法人国際経済労働研究所・駐在員事務所）

「日系企業ワークモチベーション調査（ドリアンプロジェクト）最新結果報告：働くマレーシア人と働かないマレーシア人の違い」

■2006 年度

・2007 年 3 月 10 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：見市建（在シンガポール日本大使館専門調査員）

「比較のなかのジャマーア・イスラミヤ」

・2007 年 1 月 13 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：左右田直規（東京外国語大学）

「「マレー世界」を求めて：英領マラヤにおける植民地的知の現地化とマレー民族意識の形成」

・2006 年 11 月 18 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：相原啓人（在マレーシア日本国大使館・専門調査員）

「マハティールとアブドゥラの確執：アブドゥラ政権への影響と今後の見通し」

・2006 年 9 月 9 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：東條哲郎（東京大学大学院博士課程・マラヤ大学研究生）

「スズ鉱業の過去と現在：文献史料とフィールドワークを通じて」

・2006 年 8 月 13 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：伊賀司（神戸大学大学院博士課程・マラヤ大学研究生）

「マレーシアにおけるメディア、政党政治と華人社会：MCA の南洋商報買収を事例にして」

・2006 年 6 月 17 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：柿木田信広（Branch Manager, Toropical Resort Lifestyle Sdn. Bhd.）

「団塊の世代と MM2HP（Malaysia My Second Home Project）」

■2005 年度

・2006 年 3 月 11 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：舛谷鋭（立教大学社会学部／マラヤ大学東アジア学科）

「マレーシア華人社会における反日世論の形成」

・2006 年 2 月 8 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室

報告：川端隆史（在マレーシア日本大使館）

「これまでのマレーシア、これからのマレーシア――2000 年 8 月 6 日から 2006 年 2 月 24 日の私の体験から」

・2005 年 10 月 21 日、クアラルンプール日本人会会議室

報告：Josh Hong（UNHCR クアラルンプール事務所職員、Malaysiakini コラムニスト）

「History memories in regard to WWII and the clash of Sino-Malay nationalisms in Malaysia」

・2005 年 9 月 23 日、クラウンプリンセス・ホテル

報告：鳥丸豊（Managing Director, OTAX Electronics Malaysia）
「マレーシア日系企業経営とその周辺」
・2005 年 7 月 28 日、国際交流基金クアラルンプール日本文化センター会議室
報告：滝口健（国際交流基金クアラルンプール日本文化センター）
「マレーシアの舞台芸術、その現状と展望――現代演劇を中心に」
・2005 年 5 月 13 日、バンサ地区・会員居宅
報告(1)：東條哲郎（マラヤ大学／東京大学大学院・院生）
「ペラ州錫採掘における地域性――歴史学的アプローチ」
報告(2)：塩崎悠輝（国際イスラーム大学・院生）
「キー・ワードでみるマレーシアのイスラーム」

JA'AM 世話人（2006～2010 年度）

・2008 年度　辻修次（マラヤ大）、佐藤理緒（マラヤ大／東京外国語大）
・2007 年度　辻修次（マラヤ大）、久志本裕子（国民大／東京外国語大）
・2006 年度　辻修次（マラヤ大）、久志本裕子（国民大／東京外国語大）
・2005 年度　伊賀司（マラヤ大／神戸大）、東條哲郎（マラヤ大／東京大）